

Course number		U-LAS40 20002 LJ26					
Course title (and course title in English)		精神病理学II Psychopathology II		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, MATSUMOTO TAKUYA	
Group		Health and Sports		Field(Classification)		Health and Sports Sciences(Development)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Wed.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
精神病理学（記述的精神病理学、現象学的精神病理学、精神分析ないし力動精神医学）の文献を参照しながら、精神障害の概念がどのような歴史的・社会的文脈から生まれ、発展し、実際の臨床現場のなかで役立てられているのかを理解する。また、精神障害に対する偏りのない見識を涵養し、疾患に関する科学的知識を身につける。							
[Course objectives]							
精神障害にみられる症状の捉え方を理解し、代表的な精神障害の成因、診断法、治療法、経過、心理的支援、薬物による心身の変化、および多職種連携（医療機関との連携など）について理解する。							
[Course schedule and contents]							
基本的に、下記のテーマに関してそれぞれ2-3回をあて、講義を進める。ただし講義の進みぐあい、時事問題への言及などに対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 記述精神病理学 ・ 現象学的（人間学的）精神病理学 ・ 力動精神医学（精神分析） ・ 病跡学 ・ 精神医学と哲学 ・ 精神症候学・治療学 ・ 精神医療史と現代のメンタルヘルス 							
第15回にフィードバックをあてる(方法は別途連絡します。)							
[Course requirements]							
全学共通科目の精神病理学Iもしくは行動病理学IIを事前に履修していることが望ましい。							

Continue to 精神病理学II(2)							

精神病理学II(2)

[Evaluation methods and policy]

期末試験（100％）による。
ただし、登録人数や授業形態等に応じて、成績評価の方法を変更することがある。講義時間中ならびに掲示による通知に注意してください。

[Textbooks]

松本卓也 『症例でわかる精神病理学』（誠信書房, 2018）ISBN:9784414416442

[References, etc.]

（References, etc.）

松本卓也 『心の病気ってなんだろう？』（平凡社, 2019）ISBN:978-4582838091

濱田秀伯 『精神症候学』（弘文堂, 2009）ISBN:978-4335651410

日本精神病理学会 書籍刊行委員会（編）『精神症状の診かた・聴きかた はじめてまなぶ精神病理学』（金剛出版, 2021）ISBN:9784772418447

[Study outside of class (preparation and review)]

予習として、教科書と参考書の読書。復習として、授業中に配布したプリントと自分自身のノートの内容を照らしあわせて理解を深めること。

なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

[Other information (office hours, etc.)]

前期の「精神病理学」と合わせ、精神病理学のおおよその全体像を把握していただけるように、前期と後期を通して、講義内容を構成しています。原則として前期と後期を通して学ぶことを奨めます。

なお、公認心理師の学部カリキュラムを構成する科目としての履修を希望する場合には、総合人間学部開講の「精神病理学II（精神疾患とその治療）」を履修する必要があります。

[Courses delivered by instructors with practical work experience]

(1) Category

A course with practical content delivered by instructors with practical work experience

(2) Details of instructors' practical work experience related to the course

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験

(3) Details of practical classes delivered based on instructors' practical work experience

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験にもとづいて、精神病理学の知識を教授する。